

支部紹介

第12回愛媛大学医学部同窓会東日本支部総会 報告

平成26年1月25日 東京ベイコート倶楽部
グランドボールルームにて開催

今回は第12回開催なので、司会進行は12期生の菊池孝先生と大田快児先生が担当。教育講演は12期生を代表するお二人。

宮崎龍彦先生(岐阜大学病院病理部 臨床教授)は、「ゲノム医学からポストゲノム医学へ 膠原病感受性因子の探索を例に」。日浅陽一先生(愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学教授)は「医師として生み、育てくれた愛媛大学のために」を講演。母校の卒業生が母校や他校の教授となり、全日本や世界と勝負している現状を実感。

一方、初代関東支部会長吉田謙一先生は東京大学法医学教室主任教授を退官され、東京医科大学法医学教室主任教授に御就任。関東地区の同窓生も414名まで増加。

宮崎龍彦先生のトランペット演奏と海外での武勇伝報告もあり、とてもエキサイティングな夜でした。

(文責 酒向 正春)



第5回愛媛大学医学部同窓会近畿支部総会 報告

第5回近畿支部総会が平成26年5月17日、大阪市の三井ガーデンホテルにて開催されました。

近畿支部は平成12年に同窓会最初の支部として発足しましたが、その後活動が停滞してしまい、平成23年に活動を再開、以降毎年の総会開催を続けてきております。そのため一番古いにもかかわらず今年が第5回というわけです。近畿在住の同窓生は現在500名以上になりますが、77名の参加がありました。

今回、大阪府立成人病センター病態生理学部門 高橋 克仁先生(S58卒)に「稀少がん、肉腫の新治療戦略 ～水平分業型の共同治療連携と血管新生阻害の新規分子標的治療～」と題した記念講演をしていただきました。現在の肉腫診断、治療の現況などを踏まえ、実地医家にも分かりやすく、すぐ明日からの診療に役立つ講演でした。

病院紹介では新築となった関西電力病院の紹介をして頂きました。

総会議事の後、懇親会に移り、物故者への黙祷のあと、恒例となったグリークラブOBによる乾杯の歌で開会しました。和気あいあいとした雰囲気の中に久しぶりに顔を合わせた同級生、クラブの先輩後輩といった話の輪が広がりましたが、予想したよりも参加人数が多く、立食ではかなりの混雑となってしまいました。

近畿支部は、近畿一円に居住、在職の方で構成されています。毎年卒業生が多数近畿地方に就職してきていますが、個人情報保護の観点からなかなか全部を把握できない状況にあります。今回連絡がなかった方、その他地域の方でも参加ご希望の方(!)是非ご連絡下さいませようお願いします。

(文責 朴 信正 park618424@sunny.ocn.ne.jp)

